



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「焼き尽くす献げ物の子羊はきっと神が備えてくださる」

聖書(創世記22章8節)

牧師 河合裕志

ここにはアブラハムがイサクを献げるといふとんでもない記事が載っている。ある時「神はアブラハムを試された」。彼をテストした。一体にテストは好きだという人は多くないかもしれない。その人の実力がどのくらいのものであるか試される。アブラハムの場合はどんなテストを受けたのか。

「あなたの息子、あなたの愛する独り子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。わたしが命じる山の一つに登り、彼を焼き尽くす献げ物として献げなさい」。この献げ物は普通羊とかの動物が用いられる。自分の罪が赦されるために身代りとして動物に死んでもらう。祭壇の上で全焼とする。ところが今はあなたの息子イサクをそうせよと神は命令して来た。

さあどうする。これは最大の試験。イサクはアブラハムが年をとって与えられた独り息子。それをよりによって神は求めて来た。「そんなこととても出来ません。どうか勘弁して下さい」、と普通なら言う。しかし彼は普通でなかった。

翌朝早くアブラハムはろばに鞍を置き薪たきぎを割り、二人の若者とイサクを連れてモリヤの地を目指す。三日目にその場所に近づいた時彼は二人の若者にここで待つよ

うに、私と息子だけであそこへ行って礼拝をしてまた戻って来ると指示。

父と子が更に奥深く歩いて行く途中子が父に質問。「焼き尽くす献げ物にする子羊はどこにいるのですか」。まさに凶星をついた問いかけ。さあ父はどう答える。「わたしの子よ、焼き尽くす献げ物の子羊はきっと神が備えてくださる」。こうとしか返答できなかった。やがて場所に着くと父は祭壇を築き薪を並べ子を縛って薪の上に載せる。そして父が刃物で子を突刺そうとした瞬間神より待ったがかかる。「その子に手を下すな。あなたが神を畏れる者であることが今、分かったからだ。あなたは自分の独り子である息子すらわたしに献げることを惜しまなかった」。

彼は神の厳しいテストに合格したことになる。彼はまさに神の言葉に従い切った

「信仰の父」と呼ばれてよい。そして「子羊はきっと神が備えてくださる」は預言の言葉となった。2千年後、イエスがその子羊になったのだから。イエスは十字架の上に焼き尽くす献げ物となった。イサクはからくも助かったがイエスは助からなかった。そのようにしてまで父なる神は愛する独り子イエスを犠牲にして人類に罪の赦しと永遠の命をもたらした。実に神は愛なり。これ以上の愛があるだろうか。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時～7時